学校番号	3025

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学）世界史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説世界史」　（山川出版社）						
副教材等	「ニューステージ世界史詳覧」　（浜島書店） 「世界史用語集」（山川出版社） 「山川一問一答世界史」（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

大学受験に対応するためには、世界の歴史について多くの知識と事柄に対する深く広い理解が求められている。世界史探究で学んだ「世界史のストーリー」を軸に問題演習を通じて大学受験に対応できる学力を身につけてほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重すること大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論する力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成	第１章　文明の成立と古代文明の特質についての問題演習 第２章　中央ユーラシアと東アジア世界についての問題演習 第３章　南アジア世界と東南アジア世界の展開についての問題演習 第４章　西アジア世界と地中海周辺の国家形成についての問題演習	a: 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 ・アジア諸地域の風土に適合した生活、交流が古くから営まれていたことを理解している。 ・アジア諸地域における統一国家の支配体制、宗教について、それまでの時代や他の地域との違いや、変化をふまえたうえで理解している。また周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 ・地中海周辺における国家の形成、宗教について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。また周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 b: 資料をもとに、自然環境と	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題

			生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し表現している。 ・当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響、政治や支配のあり方、宗教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。 c:自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
		第５章　イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成についての問題演習	a: イスラーム教がどのように成立し、勢力を拡大していったのかを理解している。また東西ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。 ・資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 b: 各種資料をもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。また、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c:自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題

	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編	第６章　イスラーム教の伝播と西アジアの動向についての問題演習 第７章　ヨーロッパ世界の変容と展開についての問題演習 第８章　東アジア世界の展開とモンゴル帝国についての問題演習 第９章　大交易・大交流の時代についての問題演習	a:各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。 また政治的統一は失われたが、経済・文化の交流を通じてイスラーム教徒（ムスリム）の連帯が維持されたことを理解している。 ・中世の西ヨーロッパにおける、商業の発達、中央主権国家に向けた動きを理解している。 ビザンツ帝国の衰退の過程と、その周辺のスラヴ人および非スラヴ人の動向について理解している。 ・東アジア内の交流と再編、「世界の一体化」が始まった時期のアジア、ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 b: 諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 c:自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題

	第Ⅱ部　諸地域の交流・再編	第 10 章　アジアの諸帝国の繁栄についての問題演習 第 11 章　近世ヨーロッパ世界の動向についての問題演習	a: アジアの諸帝国がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのか、周辺諸国との関係について理解している。 ・ヨーロッパにおける文化、宗教、中央集権国家成立の特徴、影響などを理解している。 b: アジアの諸帝国の特徴や関係性を多面的・多角的に考察し表現している。 ・ヨーロッパにおける文化、宗教、中央集権国家成立の要因を各種資料をもとに、多面的・多角的に考察し表現している。 c:自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題
2学期	第Ⅲ部　諸地域の統合・変容	第 12 章　産業革命と環大西洋革命についての問題演習 第 13 章　イギリスの優位と欧米国民国家の形成についての問題演習	a:・産業革命と環大西洋革命が始まった背景や経緯を理解している。 ・19 世紀の欧米情勢がどのように推移したのかを、時代背景や主義主張から理解している。 b: 各種資料をもとに、産業革命が社会に与えた影響、アメリカ合衆国独立、フランス革命、ウィーン会議、アメリカ合衆国の発展を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題

		第 14 章　アジア諸地域の動揺についての問題演習 第 15 章　帝国主義とアジアの民族運動についての問題演習 第 16 章　第一次世界大戦と世界の変容についての問題演習 第 17 章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成についての問題演習	a: アジア諸地域における動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係、植民地化の経緯を理解している。 ・第２次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。 列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。 ・第一次世界大戦とロシア革命の展開、第一次世界大戦後に形成された国際秩序、世界恐慌と第二次世界大戦の勃発から終戦までの経緯を理解する。 ・第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。 b: 各種資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や改革、植民地化について多面的・多角的に考察し表現している。 ・各種資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容、世界恐慌と第二次世界大戦、その後の国際秩序を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題

3学期	第Ⅳ部　地球世界の課題	第 18 章 冷戦と第三世界の台頭についての問題演習 第 19 章 冷戦の終結と今日の世界についての問題演習	a: 冷戦と第三世界の台頭について理解している。 ・設定した課題の追究や解決のために、適切かつ効果的に諸資料を活用し、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を理解している。 b: 各種資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容や今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度